

## 出題のねらい

### ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、的確に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本的事項を中心として幅広く出題した。

### イ. 各問いのねらい

- ① 現代の日本で広がっている「キャラを演じあう」人間関係に着目し、それが予定調和の人間関係のみを形成し、互いの多様性に基づく衝突を契機とした関係の再構築を伴わないため、互いに相手の真の姿に気づかないばかりか、自らの新たな姿を発見することもなく、環境の変化にも対応できない、という脆さを持つことを指摘した説明的な文章によって、言葉の知識・意味、文章構成を考慮しつつ内容や筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを的確に表現する能力をみる。
- ② 『論語』（学而）の文章とそれを引用しながら「学び」の意義と人生におけるその重要性を説いた諸橋轍次の文章とを読むことで、古典に関する基本的な知識や内容を読み取る力をみるとともに、人口に膾炙した古典の本質を我が身の事として捉え直し、古典の中に息づく人間の生き方をとらえ、それを的確に表現する能力をみる。
- ③ 小学生である慎一と同級生との関わりと、そこにおける微細な感情の推移を、慎一の淡い恋心が裏切られていく過程を中心として描いた文学的文章を読むことで、文章の表現や構成に配慮しながら登場人物の心情を想像力を働かせつつ読み取り、それを的確に表現する力をみる。